

# 令和 5 年度事業計画

## 1 基本方針

我が国の経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつありますが、昨年からの世界的な資源価格の上昇や急速な円安の進行によって、食料品や日用品等、様々な物価が高騰するなど、経済を取り巻く環境は厳しさを増しております。

当センターにおいても、平成 25 年及び令和 3 年の高年齢者雇用安定法の一部改正による継続雇用拡大などの影響によって、会員数は年々減少傾向にあり、それに伴い、契約実績も大きな影響を受けました。

また、本年 10 月から導入される適格請求書等保存方式（インボイス制度）による新たな費用負担についても、適切に対応していく必要があります。

このような状況ではありますが、シルバー人材センターは、「地域の日常生活に密着した仕事を高齢者に提供し、活力ある地域社会づくりに寄与する」という理念をもつ公益的団体として、引き続き、高齢者の就業による生きがいの充実を図りながら、地域の各分野における重要な担い手として、事業を安定的に継続していかねばなりません。

そのため、令和 5 年度も、会員の安全と安心の確保を最優先させながら、時代や社会の大きな変化に即応し、次に掲げる事業実施計画に基づき、より斬新で積極的な取組みを推進してまいります。

## 2 事業実施計画

### (1) 積極的な広報戦略（組織的な広報活動）の実施

会員の拡大を図っていくためには、高齢者の方々に当シルバー人材センターの魅力をいかにアピールできるかが重要であり、積極的な広報戦略を実施することで、シルバー人材センターのイメージアップを図るとともに、きめ細やかな情報発信に努め、事業の普及や拡充、会員の拡大につなげます。

- ① 会報「シルバーとやま」の発行（年 3 回）
- ② 女性部会情報誌「ひまわり」の発行（年 3 回）
- ③ 市広報による事業のお知らせ等の掲載（随時）
- ④ 路線バス（富山地方鉄道）の車外広告による PR〔新規〕
- ⑤ 敷地内の屋外掲示板及び社用車でのポスター広告による PR〔拡充〕
- ⑥ 職種別に作成した「のぼり旗」の掲示〔新規〕
- ⑦ シルバー人材センター事業の普及啓発を目的とした「シルバーフェスティバル」の開催

- ⑧ 会員が栽培した野菜等を販売する「シルバーわくわく市」の開催〔新規〕
- ⑨ 「シルバーの日」における清掃奉仕活動の実施
- ⑩ ホームページを活用した情報発信の強化〔拡充〕
- ⑪ 商工会議所などを通じた会員企業へのPRリーフレットの配布〔新規〕
- ⑫ 地元マスコミ等のメディアを活用した各種情報の随時提供〔拡充〕
- ⑬ シルバー人材センター普及啓発促進月間における「シルバー人材センターパネル展」や「ひと針工房作品展覧会」の開催〔新規〕

## (2) 会員数の増強

シルバー人材センターは、会員の自主・自立的な活動を基本とした団体であり、シルバー事業の推進を図るためには、会員数の増強が不可欠です。会員及び役職員が一丸となって、新規会員の拡充と退会者の抑制に努めます。

### 〔入会の促進〕

- ① 「出張お仕事説明会」や「女性のつどい」の開催
- ② 会員の少ない地域での「出張お仕事説明会」の開催強化
- ③ ハローワークにおける「就業相談コーナー」の開催
- ④ Webによる仮入会手続きの導入〔新規〕
- ⑤ 入会者紹介制度の検討〔新規〕
- ⑥ 企業訪問の働きかけによる定年退職予定者の入会促進〔新規〕
- ⑦ 会員が栽培した野菜等を販売する「シルバーわくわく市」の開催〔新規〕  
(再掲)
- ⑧ 女性会員向けの新規事業について検討〔新規〕
- ⑨ 郵便局のダイレクトメールなどを活用したPR〔新規〕
- ⑩ 富山県シルバー人材センター連合会・富山県生涯現役促進地域連携事業推進協議会及びハローワークとの連絡・連携の強化

### 〔退会の抑制〕

- ① 「お仕事情報」の内容の充実
- ② 未就業会員の就業ニーズを調査し、それに対応した新規事業を開拓
- ③ 未就業会員等に対し、就業相談会を計画的に実施
- ④ 車の運転ができない会員のための、就業しやすい環境の整備
- ⑤ 高齢などにより就業を目的としない会員を対象に、ボランティア活動などを生きがいとした会員制度の検討〔新規〕
- ⑥ 「ますのすし手作り体験」など会員向けの魅力あるイベントの開催

### (3) 受注の拡大

安定した事業運営を図るため、受注割合の少ない公共事業を重点とした新規事業の掘り起こしに努めるとともに、継続契約者や過去に受注のあった企業からの継続契約の確保や拡大と新規契約の開拓に努めます。

[会員への取組み]

- ① 樹木の剪定、草刈りの就業会員の増強〔新規〕
- ② 見積基準単価の引き上げによる会員の就業意欲の向上
- ③ 会員が希望する就業の把握によるマッチング率の向上

[発注者への取組み]

- ① 就業した会員から、センターのPRリーフレットの配布
- ② 商工会議所などを通じた会員企業へのPRリーフレットの配布〔新規〕  
(再掲)
- ③ 宅配業など人手不足分野への就業開拓の検討〔新規〕
- ④ 計画的な企業訪問活動による受注の確保及び新規就業の開拓
- ⑤ 女性会員が就業しやすい職域の開拓による就業機会の拡大

[公共機関への取組み]

- ① 放課後児童クラブの補助員、空き家見守りサポートなどについて富山市と連携した働きかけとPRの強化
- ② 全地区センター訪問による受注の働きかけと市民へのシルバー事業周知の促進〔新規〕
- ③ モデル地区を設定した「ゴミ出し支援事業」の試行〔新規〕
- ④ ふるさと納税の返礼品として、「空き家見守りサポート事業」「墓清掃」の検討〔新規〕

### (4) 派遣事業の拡大

シルバー人材センター事業の「裾野」を広げていくためには、一般労働者派遣事業の拡大が不可欠であり、今後も富山県シルバー人材センター連合会と連携し、派遣事業の拡大に努めます。

- ① 計画的な企業訪問活動による受注の確保及び新規就業の開拓（再掲）
- ② 富山県シルバー人材センター連合会と連携した、業務拡大の3次指定等の働きかけ

### (5) 独自事業の推進

従来から、実施している「剪定枝葉リサイクル事業」については、今後も安定的に継続し、併せて環境保全にも努めます。また、ひと針工房については、

展示即売会の開催などを通じて販路を拡大し、販売実績の積上げを図ります。

さらに、女性会員向けの新たな事業展開を図るため、先進シルバー人材センター等を参考にしながら、新規の独自事業について検討を進めます。

[剪定枝葉リサイクル事業]

- ① 剪定作業における後継者の育成による剪定枝葉の増加と製造工程等の効率化や改善による販売数の増加
- ② イベント等での土壌改良剤及びEMボカシの販売強化

[ひと針工房]

- ① 本所及び各連絡所におけるひと針工房や出張着付けの「ポスター」や「のぼり旗」の掲示
- ② イベントやショッピングモール等での展示即売会の開催
- ③ シルバー人材センター普及啓発促進月間における「シルバー人材センターパネル展」や「ひと針工房作品展覧会」の開催〔新規〕（再掲）

[カルチャー教室]

講座数の増加による会員の拡大

[ふれあい市]

会員が栽培した野菜等を販売する「シルバーわくわく市」の開催〔新規〕（再掲）

## (6) 安全・適正就業の徹底

安全就業は、シルバー人材センター事業の原点です。就業中の事故だけでなく、就業途上における交通事故防止などにも努め、事故「ゼロ」を目指します。

また、法令遵守の徹底による適正就業の更なる徹底に取り組みます。

[安全就業への取り組み]

- ① 安全・適正就業委員会を中心とした安全パトロールの徹底・強化
- ② 作業前チェックシートの活用と指差し呼称の徹底・強化
- ③ 事故の発生原因に基づく再発防止策の構築と、これらの会員へのフィードバックによる再発防止
- ④ 剪定・草刈り作業班等への安全講習会の開催による安全教育の徹底
- ⑤ 高齢者を対象とした安全運転講習会の開催による就業中及び就業途上の安全確保
- ⑥ 安全標語の募集や無事故表彰等の実施
- ⑦ 飛び石が発生しにくい刈払機(カルマー)の導入〔新規〕
- ⑧ 衛生管理者の配置及び派遣会員の健康と安全を守るための衛生委員会の開催〔新規〕

〔適正就業への取組み〕

- ① 新規業務における事前把握及び継続業務における随時確認による「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」の遵守
- ② 会員就業基準に基づく公平な就業機会の提供

## （7）研修の充実

会員の技術・技能等の向上を図るとともに、会員不足等から供給不足が発生している職種について、技能後継者を育成するための講習会を開催します。

また、草刈り作業における事故が多発していることから、安全な機械の取り扱いや作業方法についての講習会を実施します。

さらに、事務局職員の資質の向上に向けた研修会を実施します。

- ① 会員を対象とした技能取得講習会や接遇研修会の開催
- ② 草刈班全員参加による「草刈機安全使用講習会」の定期開催〔新規〕
- ③ 剪定など、会員不足等から供給不足が発生している職種に対する技能後継者育成のための講習会の開催（会員以外も対象）〔新規〕
- ④ 新規事業の企画・立案や事業運営の推進等に関する先進シルバー人材センター等への視察
- ⑤ 事務局職員を対象とした意識改革を高めるためのビジネススキル等の研修会の開催
- ⑥ 役職員を対象とした講習会の内容の充実

## （8）女性会員の活躍の推進

女性部会「ひまわり」を中心に、会員と役職員が一丸となって、創意工夫を凝らしながら、女性目線に立った積極的な事業を企画・実施することなどにより、女性会員の活躍の推進に努めます。

- ① 女性部会の開催
- ② 女性部会情報誌「ひまわり」の発行（年3回）（再掲）
- ③ 一般市民向けの「女性のつどい」及び「シルバーワークショップ」の開催〔拡充〕（年6回）
- ④ 女性会員向けの魅力あるイベントの開催
- ⑤ 会員が栽培した野菜等を販売する「シルバーわくわく市」の企画・運営等〔新規〕（再掲）
- ⑥ 女性会員向けの新規事業について検討〔新規〕（再掲）

### (9) ICTを活用した利便性と事務効率の向上

会員や発注者の利便性を向上させるとともに、事務効率の向上を図るためには、ICT（情報伝達技術）を活用した取組みが不可欠です。

今後とも、ICTを活用したサービスの検討・準備を進めてまいります。

- ① メール配信サービスの促進
- ② Webによる入会申込手続き等の検討・準備（再掲）
- ③ 就業報告書等の各届出書のICT化の検討
- ④ Webによる受注受付等の検討〔新規〕

### (10) 財政の健全化と経営改善

持続可能で安定的な団体運営を確保するため、会員数の増強や受注の拡大などの経営基盤を強化しながら、次のとおり財政の健全化と経営改善に積極的に努めます。

- ① コンパクトで効率的に機能する組織体制の構築維持
- ② 職員数の適正化による総人件費の抑制
- ③ 各業務におけるアウトソーシングやICT化の推進等によるコストの削減
- ④ 事務局職員の意識改革推進による士気・モチベーションの向上

### (11) インボイス制度導入に係る対応

本年10月から予定されているインボイス制度が導入されれば、新たな費用が発生し、センターの事業運営に大きな影響が生じることから、全国シルバー人材センター事業協会や富山県シルバー人材センター連合会等と十分連携しながら、適切に対応していきます。

- ① 事務の改善及び効率化の推進によるコストの削減
- ② 受注拡大に伴う受取事務費の増加
- ③ 事務費率の段階的な引上げ
- ④ 全国シルバー人材センター事業協会が実施するインボイス制度に関する取組みとの連携